

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

豆酛の民俗行事

去る二月に豆酛で二つの無形民俗文化財の行事がありました。旧暦一月三日に当たる二月十六日に雷神社で行われたのがサンゾーロー祭です。

この祭礼は市の無形民俗文化財に指定されており、一五〇〇年前から始められたとも言われ、中で行われる天下国家の吉凶を占う神事である「亀卜習俗」は、国選択無形民俗文化財にも指定されています。

今年、第六十九代卜者(占い師)の岩佐教治さんが病氣療養中のため、岩佐さんの甥にあたる土脇隆博さんが卜者を務めました。祠の前で宮司が祝詞を唱えた後、土脇さんが火鉢の炭火で木を焼き、亀の甲羅に火を当ててから筆を取り、稲作「吉」、漁業「良」、震災「軽震」と半紙にしたためました。

がふるまわれました。



続く二月二十三日(旧暦一月十日)には赤米の頭受け神事が主藤公敏さん宅で行われました。

これは稲の原生種である赤米の穀霊を神として祭る赤米行事で行われる神事の一つで千三百年以上前から伝わったとされ、行事は国選択、神事は市指定の無形民俗文化財になっています。

「頭仲間」と呼ばれる人たちが一年交代の輪番制で赤米の田植えや稲刈り、もちつきなど年十回の神事をこなし、中でも秋に収穫した赤米の種もみを詰めた神俵を、次の当番に引き継ぐ「頭受け」が最も重要な行事です。

しかし、年十回の神事にか

対馬市教育委員会 文化財課
0920(54)2341

かる金銭的・肉体的負担が重く脱退者が相次ぎ、平成十九年から主藤さんだけになってしまいました。

この日の夜、お停坊と呼ばれる人をはじめ親戚四人が、神俵を吊るした座敷で宴を開き、赤米で造った甘酒を飲み、ごちそうを食べました。頭仲間がいいため、神俵を下して引き渡す行事は省略されました。

主藤さんは、「頭仲間がいなくなり一人で大変だが、千数百年前から続いてきた神事だから続けなければ」と話していました。

このように豆酛では今でも貴重な民俗行事が大切に続けられています。



つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

- おはなし会 5月15日(土)午後2時から午後3時まで 4階視聴覚室
内容：よみかかせ、エプロンシアター、紙芝居、マジックショーなど
- 読まなくなった本が家庭で眠っていませんか？
一般書・児童書・趣味の本など、図書館では、寄贈本を受け付けています。
詳しいことは図書館までお尋ねください。
- 図書館では、ボランティアを募集しています。
(カウンター内の作業、本の修理、おはなし会のスタッフなど)
興味のある方は、図書館までご連絡下さい。

今月のおすすめ新着本

『対馬奪還戦争 2・3巻』 大石 英司 / 著

韓国軍が投入した新たな空挺部隊を、海自のイージス艦「こんごう」以下、四個護衛隊群が迎撃。一方、上対馬の陸自部隊は空挺特殊部隊小隊長・土門の発案で、ある「賭け」に出るといって、さてその作戦とは…？

『どん底力』

さかもと 未明 / 著

「どうしたら自信のある生き方ができる？」
何度もどん底を味わい、今も難病と闘う著者が、様々な悩みに答えながら人生サバイバル法を伝授する。

『子どもの心の病気がわかる本』

市川 宏伸 / 著

成長過程での心のストレスを乗り越えられずもがき苦しむ子どもに対して、親はどう対応すればよいのか？本格的な手助けが必要という状態まで、子どもの心にトラブルが生じたときの対応策を紹介する。

『放課後の怪談 3分の1の魔法』 日本児童文学者協会 / 著

夜中の3時33分に、からくり時計に願い事をする、3分の1の確率で願いがかなう。明には、漫画家になる夢があった…。「3分の1の魔法」赤いペンケース「きもだめし」ほか全10編を収録。

『いつまでもここでキミを待つ』

ひろの みずえ / 著

日常のループから抜け出たくて、行き先も知らない寝台特急に飛び乗ってしまった奏。不良風の家出少年に出会い、なぜか一緒に広島へ行くことになってしまい…。切なくもさわやかなロードムービー風の物語。

『おばけがっこうぞぞぐみ』全3巻

戸田 和代 / 著

はじめておばけがっこうに行く日、ぐうぜん一緒にあったばけぐー、ばけちよき、ばけばーは、すぐに仲良くなったんだ。ある日、3人はにげんの女の子にであって…。

一般書

児童書